



第429号

2022年12月

〒461-0004
 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カトリック名古屋教区広報部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 news@nagoya-diocese.jp
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行

名古屋教区設立100周年 教区聖年
 (2022.2.13~2023.5.28)
 神からの賜物 (A GIFT) を感謝し
 新しい時代へ

宣教地召命促進の日 12月4日
 私たちは世界中の宣教地の召命促進のため
 に祈り、犠牲をささげます。当日の献金はロー
 マ教皇庁に集められ、全世界の宣教地の司祭
 養成のための援助金として送られる。

教区ホームページ

福音のひびき

12月の説教者

- 4日 待降節第2主日 太田 実 (一宮教会)
- 11日 待降節第3主日 トゥルン・ゴー・ホーム・アンデレ (五反城教会)
- 18日 待降節第4主日 平澤 忠雄 (布池教会)
- 25日 主の降誕 モルク・フランシス・アジ (岡崎教会)



献堂60周年を祝う布池教会の信徒の皆さん

2022年10月9日(日)9時半のミサにおいて、聖ペトロ・聖パウロ大聖堂の献堂60周年を記念するミサが行われました。本来なら献堂記念日は3月でしたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため延期され、約半年遅れの開催となりました。ミサは、松浦悟郎司教様の司式のもと行われ、この日のため製作された献堂60周年記念カードが奉納されました。

説教の中で司教様は、名古屋教区設立100周年との関わりについて話されました。

「名古屋教区は、愛知岐阜、福井、石川、富山の5県を合わせ、1922年知牧区として設立されました。初代教区長は神言会のJ・ライネルス師が就任され、その後松岡孫四郎師が教区長を受け継がれました。松岡教区長をはじめ、多くの人の尽力があり、1962年名古屋教区は司教区に昇格、松岡教区長は初代司教として叙階されました。その時に司教座聖堂として献堂されたのが、聖ペトロ・聖パウロ大聖堂であったということです」名古屋教区100周年の歩みと、献堂のために尽力された方々に思いを馳せる時間となりました。

ちなみに筆者の聞き及

記念カードを奉納

カトリック布池教会 献堂60周年記念ミサ

名古屋教区設立100周年 教区聖年

宣教地召命促進の日 12月4日

福音のひびき

12月の説教者

- 4日 待降節第2主日 太田 実 (一宮教会)
- 11日 待降節第3主日 トゥルン・ゴー・ホーム・アンデレ (五反城教会)
- 18日 待降節第4主日 平澤 忠雄 (布池教会)
- 25日 主の降誕 モルク・フランシス・アジ (岡崎教会)

んだところによると、大聖堂建設の計画が持ち上がった当初、当時最先端であった前衛的なデザインの家もあったとのことですが、松岡司教様の強い思いにより現在のよう

ミサが終わり、大聖堂正面階段で記念撮影を行いました。献堂60周年記念ミサを滞りなく終えることができました。

(布池教会 田原)

敦賀教会創立70周年 小浜教会献堂27周年 記念ミサ



ティトホール・ベルナルドウス神父(左)と松浦司教

その後1961年に現聖堂を献堂しました。

小浜教会は、家庭でのミサや公共施設での集会を行っていましたが、自由にミサを立てられる場が欲しいと数年間資金集めの活動をしていました。多くの方々のご協力もあり、1995年に「復活のキリスト カトリック小浜教会」が献堂されました。本来は25周年でお祝いするところですが感染症のためできなかつたため、今年、敦賀教会70周年とあわせて行いました。

司教様のお話で50周年の時のレイ

松浦悟郎司教の司式により敦賀教会創立70周年と小浜教会献堂27周年の合同記念ミサが10月16日に敦賀教会にて行われました。

敦賀への宣教は1948年に神言会により始められ、1952年に福井県の司牧は神言会から聖心布教会に引き継がれました。同年、民家を購入し、「海の星カトリック敦賀教会」としました。



敦賀教会創立70周年を祝う信徒の皆さん

現在もフィリピン籍の方が多いですが、皆さん日本語が堪能で、典礼にも積極的に参加し、子供たちも侍者をしっかりとしてくれま。小浜教会は、敦賀と舞鶴の両教会の中間の地にあり、信仰を守り抜くには、距離的にも大切な場所です。

私も、仕事で休みのとれないときもあります。が、叔母に受け継がれて

人事異動のお知らせ

教区司教 松浦悟郎

+主の平和

この度、聖心布教会に人事異動があり、下記の通り任命しましたのでお知らせします。

記

敦賀教会、小浜巡回教会 主任司祭

アルン神父 (AVVARI ARUN KUMAR)

北陸ブロック・福井地区 協力司祭 ヘルン神父 (JOSEPH BERNARDUS TETHOOL)

任命は、2022年11月1日からとなります。



献堂27周年を祝う小浜教会の皆さん

名古屋教区設立100周年を記念して 名古屋教区内の女子修道会・ 在俗会の紹介シリーズ(第5回)

聖パウロ女子修道会 名古屋修道院開設の歩み

1948年イタリアを船出15カ月目の8月6日、宣教女として派遣された4名のシスターは、やとと東京に着きました。すでに男子パウロ修道会の神父様方は日本で戦争を体験し、困難に直面しながらも宣教の新しい道を探していました。

私たちは1956年大阪に書院を開いた時から神戸にも書院を開きたいとの希望をもっていました。名古屋地区が司教区に昇格した1962年、新しく司教に任命された松岡孫四郎司教様は多くの宣教会、修道会を教区に誘致し宣教活動に力を入れました。

そのころ、教区長様は新しい宣教方法に大変関心と期待をよせられ名古屋教区でも宣教活動をして欲しいと修道院の開設を願われましたが、当時のイタリア人の院長は「私たちも喜んでお招きに応じたいのですが、今は人材的にも経済的にも無理と一言を述べ、教区長様は教区所有の土地と家を一年ほど使えるように計らってくださったのです。そこでこのチャンス逃すべきでない」と判断し、すぐ松岡司教様を訪問、名古屋修道院を設立する旨返事をしたのでした。大阪から3人のシ



スターと1人の志願者が派遣された名古屋駅には教区長様自ら出迎えてくださり、パブリック神父様は家のことをお世話くださいました。また、到着当日修道院でミサが捧げられ新しい地での宣教に祝福を受け感謝と喜びでいっぱいでした。生活面では、主税町教会の主任司祭、故平田義雄神父様と協力者が助けてくださりました。東京から本が届くと、早速「家庭訪問宣教」を始めました。

1962年には、名鉄百貨店に「セントポールコーナー」を開設、教会案内の窓口としての役割を担いました。前後しますが、1956年に熱田区鍋弦町に修道院落成、伊勢湾台風やいろいろな出来事に合いながらも東

海地区五県の団体出張訪問宣教、(教会、学校幼稚園を訪問)をはじめ、まだキリストを知らない人々との出会いは大きな喜びとなりました。

1967年1月には布池に聖パウロ書院開設、4年後に修道院が落成現在に至っています。

近年、ソーシャルコミュニティケーションメディアは急速に変化、進歩し、人々の働き方も多様化し私たちが修道会も大きな挑戦を受けています。本会は、25年前にホームペー

第3回教区・ 社会委員会 開催のお知らせ

教区司教 松浦悟郎

+主の平和

10月に入り、過ぎしや

すい秋の季節になりましたが、皆様にはそれぞれ

の場で福音宣教の取り組みをされていることと思

います。

さて、2016年に各

小教区に社会委員会を設

置するようにお願いして

から、これまで2回、社

会委員会の集いを開催

し、委員会の役割や方向

性について説明してきま

した。それ以後、コロナ

禍ということで集まりが

出来ず、また、各小教区

でも開店休業のような状

態が続いている委員会も

あると聞いています。

そこで今年、「教区・

社会委員会」を東海と北

陸に分け、下記の要領で

行うことになりました。

そこでは、社会委員会の

意義と役割、日本の教会

の動きや名古屋教区の取

り組みなどの紹介、そし

て、皆さんの小教区にお

ける現状の分かち合いなどを考えています。社会委員が出席できない場合は、どなたか代理を送っていただき、その内容を小教区に伝えていただけ

るようにお願いします。

別紙申込用紙に記入して、11月14日までに社会福音化推進部事務局に申し込んでください。

記

東海(愛知・岐阜)

日時

2022年

12月3日(土)

13:30~15:30

場所

布池教会地下ホール

北陸(福井・石川・富山)

日時

2022年

12月10日(土)

13:30~15:30

場所

金沢教会

会議室(2階)

参加者

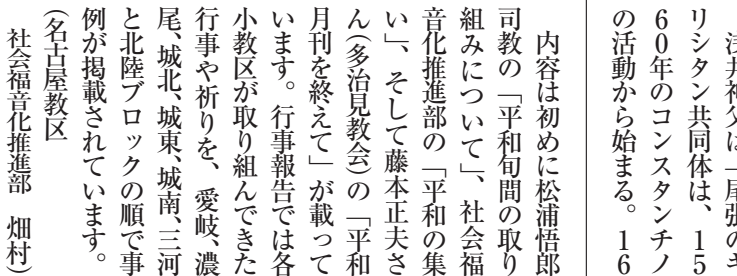
各小教区社会委員会より少なくとも1名(複数可)

交通費は1名分のみ支給いたします。

2022年の名古屋教区平和句間「平和のつどい」の報告集

「ともに歩む・私たちが忘れないで」

2022年の名古屋教区平和句間「平和のつどい」が8月7日に、布池教会で開催され、テーマは「ともに歩む・私たちが忘れないで」でした。このテーマに沿って、各小教区ではいろいろな取り組みが行われ、その行



事の報告集がまとまりました【写真】。編纂はカトリック名古屋教区宣教司牧評議会と社会福音化推進部。

内容は初めに松浦悟郎司教の「平和句間の取り組みについて」、社会福音化推進部の「平和の集い」、そして藤本正夫さん(多治見教会)の「平和月刊を終えて」が載っています。行事報告では各小教区が取り組んできた行事や祈りを、愛岐、濃尾、城北、城東、城南、三河と北陸ブロックの順で事例が掲載されています。

(名古屋教区 社会福音化推進部 畑村)

名古屋教区設立100周年 教区聖年活動企画 「歩み」名古屋教区100年の 宣教の歩み「濃尾崩れ」

講演 浅井太郎神父



濃尾崩れについて講演する浅井太郎神父

31年に一宮の一宮一

**2023年
新成人と共に祝う『教区新年の集い』**

New Year gathering to celebrate the new adults

日時 1月22日(日) 14:00~

場所 カトリック布池教会大聖堂

主司式 松浦悟郎司教

内容 14:00教区新年のミサ。
ミサの中で新成人の祝福式を行います。

主催 カトリック名古屋教区

問合せ 名古屋教区本部事務局 ☎052-935-2223

- 新型コロナウイルス感染状況により中止となる場合があります。
- 体調不良の方は出席を控えて頂き、出席者は全員マスクを着用願います。
- 駐車場が狭いため、公共交通機関をご利用下さい。

**尾張の
キリシタン
共同体**

- *1560年代のコンスタンチノの活動から始まる。
- *1631年に一宮の本願寺で火災に燃やされた4人のキリシタン、ポール兵右衛門、その子高木村のシモン久三郎、一宮の医師コスモ通潤、レオン五郎はとりわけ熱心であった。
- *約100年間の共同体は存続し、宣教拠点は花正、清洲、一宮、高木村、犬山五郎と移っていく。

二十六聖人の中の尾張出身者

- ・コスメ竹屋：尾張の良家柄の出身で名刀師、フランシスコ会の伝道師となり、大阪で捕縛された。兄弟の竹屋レオンも著名な刀師で、清洲の自宅をイエズス会に譲渡して上洛したが、1596年に病死。
- ・パウロ茨木：フロイスが「機械工」と書く職人。
- ・レオン鳥丸：フランシスコ会の伝道師であり、ベッド数50の京都最初の洋式病院「聖アンナ病院」の世話人。結城了悟神父によれば、姓は茨木、故郷は尾張国花正。
- ・ルドビコ茨木：前二者の甥。フランシスコ会員と一緒に住んでいた12歳の同宿。殉教者中最年少。
- ・パウロ鈴木：説教師で「聖ヨゼフ病院の世話人」49歳。



共に生きるための研修会に参加した信徒の皆さん

名古屋教区難民移住移動者委員会主催 2022年度「共に生きるための研修会」 5つの国の若者たち、それぞれの訴え

「共に生きるための研修会」が9月24日、布池教会地下ホールで開催された。主催は、名古屋カトリック難民移住移動者委員会。今回のテーマは、「若者の叫びを聞く……私たちの居場所はどこ？」。

発表の演壇に立ったのは、ペルー、ブラジル、日本、フィリピン、ベトナムの男女5人の若者。最初のペルー人の若者は、12才の時ペルーに留学したが、スペイン語など何も知らなかったため苦労したと話した。学校教育や文化が日本と大きく異なっていたという。高校卒業後、国籍選択のため日本に帰ると母親に告げられた時はびっくりしたと話した。自分の経験から、言葉が分からなくても若いうちに勉強すれば、理解も早いし覚えも早いと訴えた。

2番目のブラジル人の若者は、14才で日本とブラジルの信仰の違いに気がついたと話した。ペルー人の若者と同様、いろいろな苦労と経験を繰り返して、自分の居場所はどこかなど考えたという。日々の困難を乗り越えることを教えてくれたのは教会だったという。教会での教えをよく勉強し、本当の信仰を持つようにならなければならないようにがんばりました。

他の若者も、日々の生活の中でどんな苦労があつてもあきらめず、いつも祈り、神の導きを求めれば道は必ず開けると強調した。

最後に5人の若者の訴えを聞かれた松浦悟郎司教様は、次のように話された。「5人の若者は日本人の若者よりも多くの苦労をされているように受けとめられたが、日本人の若者より幸せに感じた。日本に住んでいる我々は、5人の若者の話にも心痛みを感じる。日本はもっとやさしい国になってほしい。個々の国のこと考えずに地球に住むすべての人々、地

球全体が一つになって一つの家族となつてほしい」

こうして、2022年度の研修会の幕が閉じられた。

(難民移住移動者委員会 村上満二)



研修会で挨拶をする島袋神父



「私たちの居場所はどこ」と語る5つの国の若者たち

「わたしは道であり、真理であり、命である」

ラビリンスの歴史は古く、紀元前にも遡ります。キリスト教では中世に、諸事情でエルサレムに巡礼に行けない信徒たちが、ラビリンスを歩くことを巡礼の代用として用いるようになったと言われます。13世紀初頭には、フランスのシャルトル大聖堂の床にラビリンスが描かれており、祈りと黙想のためにラビリンスを歩くようになりました。形は主に2種類あり、写真(八事聖霊修道院のラビリンス)は「シャルトル型」です。

下の図は、「クレタ型」(また「古典型」と呼ばれます。また、ラビリンスメ

「わたしは道であり、真理であり、命である」(ヨハネ14章6節)と言われる主であるイエス・キリストに導かれて歩むこと。それは私たちの霊的旅路と重なるのではないのでしょうか。主イエスキリストの導きに心を開いた時、そのときの歩き方を聖霊が示しつつ、主がともに歩いてくださることを感じさせてくれることでしょうか。

「わたしたちにとって、「同行二人」とはキリストが共にいることであり、また、一人で巡礼していても信仰をつないでくれた先人たちと今の共同体の人々とのつながりの中で巡礼しているのです……」

(教区聖年巡礼冊子 表紙裏 教区松浦悟郎司教様の文書 「巡礼のために」より引用)

新刊書紹介

カトリック教会 情報ハンドブック2023

発行 2022年11月10日 カトリック中央協議会
価格 550円(税込み)
編集 カトリック中央協議会出版部
問合せ・お求めはカトリック中央協議会
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館内
☎03-5632-4411 FAX 03-5632-4456



『カトリック教会情報ハンドブック2023』の「典礼聖歌」による聖歌案に不備がありました。6月18日(年間第11主日)の分が欠落しています。大変申し訳ございません。右記内容を追加させていただきます。(271ページ)	6月18日 年間第11主日
入 140	全世界に行って呼ばれています
奉 107	主とともに(詩126)
387	神はキリストのうちに心を尽くして(詩146)
拜 95	主はわれらの牧者(詩23)
123	主はわれらの牧者(詩23)
177	わたしの心は神のうちに喜ぶ(詩105)

前田万葉句集Ⅱ「雲の峰」

著 前田万葉
訳 ジェームス・ケッテング
カトリック大阪大司教区大司教、枢機卿であります前田万葉著者による第2句集。自註や英訳も併録している。

出版社 かまくら春秋社
価格 1,650円(税込み)



聖霊会主催 「私を見つける、チョコっと修活！」 ～Nunって何なん？

私はどんな道を進むだろうか？そして修道生活って何だろうか？と自分を見つめ、修道生活について知る集いを3回シリーズで行います。

第1回 12月17日(土) 14:00から
テーマ 「星を見つけた博士たち～私の星を見つける～」
対象者 中学3年生以上の独身女性
参加費 無料。事前申し込みは必要ありません。
場所 聖霊ミッションセンターホール(旧八事聖霊幼稚園) 〒466-0825 名古屋市中区八事本町1
交通 地下鉄名城線「八事日赤病院」下車。1番出口を出て右方向、すぐの角を右折、次の角も右折、信号を左折し門へ。徒歩5分。
問合せ 八事聖霊修道院 ☎052-832-0434
担当 Sr. 片山
詳細はチラシをご覧ください。

2023年度 カトリック名古屋教区行事予定表の 配布について

名古屋教区宣教司牧評議会事務局では、2023年度の名古屋教区行事予定表を準備しています。編集が済み次第、印刷して今年12月下旬には、各小教区等に配布できるよう準備しています。

伊藤輝巳プロファイル
女子パウロ会の書籍の表紙や、クリスマスカード等、油絵、水彩、エッチング、切り貼りした絵と、さまざまな技法で描いています。



笑顔で原画を説明する伊藤さん

伊藤輝巳さんの原画展を開催
聖パウロ書院では11月5日～11月13日まで、女子パウロ会が発行する書籍の表紙の絵やカードの絵を描いている伊藤輝巳さんの原画展を開催し、大勢の方が会場を訪れた。11月5日と6日には、伊藤輝巳さんも名古屋会場に姿を見せ、来場された方には原画展の説明やエッチングの醍醐味などを話していた。【写真】

〔祭〕祭日(祝)〔祝日(記)〕記念日
12月の教会暦

3日(土) 日本宣教の保護者 聖フランシスコ・ザビエル司祭(祝)
 4日(日) 待降節第2主日 宣教地召命促進の日(献金)
 7日(水) 聖アンブロジオ司教教会博士(記)
 8日(木) 無原罪の聖マリア(祭)
 11日(日) 待降節第3主日
 13日(火) 聖ルチアおとめ殉教者(記)
 14日(水) 聖ヨハネ(十字架の)司祭教会博士(記)
 18日(日) 待降節第4主日
 25日(日) 主の降誕(祭)
 26日(月) 聖ステファノ殉教者(祝)
 27日(火) 聖ヨハネ使徒福音記者(祝)
 28日(水) 幼子殉教者(祝)
 30日(金) 聖家族(祝)

1月の主な教会暦(主日・祭日など)
 1日(日) 神の母聖マリア(祭)
 世界平和の日
 8日(日) 主の公現(祭)
 15日(日) 年間第2主日
 18日(水) 25日(水) キリスト教一致祈禱週間
 22日(日) 年間第3主日(神のことは主日)
 29日(日) 年間第4主日 世界こども助け合いの日(献金)

教区行事予定 (*松浦司教)

12月 3日(土) 社会委員会(東海)*



9日(金) 正義と平和委員会「学習会」
 10日(土) 殉教者委定例会/信徒協役員会/北陸社会委員会*
 13日(火) 樹の会
 14日(水) カリタス福祉委員会
 15日(木) 教区顧問会*
 17日(土) レジオ・マリエ「名古屋クリア」
 18日(日) 青年委員会
 20日(火) カトリック看護協会例会
 26日(月) 教区事務所仕事納め

1月 4日(水) 教区事務所仕事始め
 5日(木) 教区顧問会*
 7日(土) 宣司評運営委員会
 10日(火) 樹の会
 11日(水) カリタス福祉委員会
 13日(金) 正義と平和委定例会
 14日(土) 殉教者委定例会
 17日(火) カトリック看護協会例会
 22日(日) 新成人と共に祝う「教区新年の集い」*青年委員会

教区行事以外の松浦司教予定

12月 1日(木) 常任司教委員会
 5日(月) 社会司教委員会
 6日(火) 司教総会
 12日(月) 13日(火) 管区司教会議
 12日(木) 19日(木) 全国司祭養成研修会
 12日(木) 常任司教委員会
 24日(火) 南山評議会



2022年度正義と平和委員会学習会
 「やられた方から歴史を見る」
 ~誰一人置き去りにしない~

名古屋教区正義と平和委員会主催の第6回勉強会が開催されます。

日時 2023年1月21日(土) 10:30~
 テーマ 「基地沖縄の人々」
 講師 小林武さん(沖縄大学教員)
 場所 福信館
 問合せ カトリック名古屋教区正義と平和委員会
 名古屋市東区葵2-6-29 福信館気付
 FAX 052-935-7195

告知板

◇12月の吹き出し
 木1日東山、8日布池、15日聖霊・南山・樹の会、22日城北橋
 金2日喜望の会、9日南山、16日AJU・恵方町、23日布池

お知らせ
 2023年1月15日に予定していた新成人と共に祝う「教区新年の集い」は日程が変更となりました。
 日時 2023年1月22日(日) 14:00から
 場所 カトリック布池教会
 問合せ 宣教司牧評議会事務局
 ☎052-935-2223

カトリック名古屋教区
 セクシュアル・ハラスメント
 対応委員会
 ホットライン
 ☎080-2625-4681

受付 月~金(祝日除く)
 時間 10:00~12:00
 13:00~16:00
 名古屋市東区葵2-6-35
 カトリック名古屋教区センター
 相談の秘密、プライバシーは厳守します。
 安心してご相談ください。

聖パウロ書院からお知らせ
 クリスマスと年末年始休みのお知らせ

12月24日(土) 10:00~19:30
 12月25日(日) 10:00~17:45
 12月30日(金)~1月3日(火)まで
 お休みさせていただきます。
 1月4日(水)より通常通り開店いたします。

名古屋教区本部事務局の
 年末年始の休館日

12月26日(月) 仕事納め~2023年1月3日(火)まで。1月4日(水)仕事始め。

647件 31,770,525円
 目標額 40,000,000円(10/31現在)

建設費の返済に協力を

郵便振替 00810-5-50605
 加入者名 カトリック名古屋教区
 通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

達成率 約79.4%

第16回 ホスピス聖霊講演会
 【公開&WEBライブ配信】

テーマ「たましいの安らぎ
 病院チャプレンの働きより」

講師 藤井理恵さん
 淀川キリスト教病院チャプレン
 日時 2023年1月28日(土)
 講演 13:30~15:30(質疑応答30分含む)
 開場 13:00・開場
 ・ライブ配信に入室
 会場 聖霊病院 2階 聖霊ホール
 対象 一般 定員250名(会場は50名)
 定員になり次第締切
 申込み方法 往復はがき、またはEメールに、氏名・住所・電話番号・参加方法(会場 or WEB)をご記入ください。
 *申込みされた方には、追ってご連絡をいたします。
 *新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、WEBライブ配信のみの講演とさせていただきます。
 後日、動画配信はありません。
 締切 2023年1月20日(金) 必着
 申込み先および問合せ先は
 聖霊病院 カトリック社会事業室
 ホスピス聖霊講演会係
 〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地
 ☎052-832-1181(内線3316)
 Eメール katosha@seirei-hospital.org
 主催 聖霊病院ホスピス聖霊推進委員会
 後援 ホスピス聖霊後援会「ぶどうの会」

事前予約制

今年も、みんなで聴こう! パイプオルガン・聖歌・ハンドベルによる音楽のアドベントカレンダー
 そして、クリスマスのお話

日時 12月10日(土) 13:00開場 13:30開演
 場所 カトリック南山教会大聖堂
 入場 無料。催し物後、運営費用およびホスピス聖霊後援会「ぶどうの会」への寄付のご協力。
 (クリスマスキャロル)、(ソプラノ独唱)、(パイプオルガン作品)、(ハンドベルが奏でるクリスマスキャロル)
 事前予約が必要です。ご予約方法は3通り。
 ①QRコード②ウェブサイト③電話。詳細はチラシをご覧ください。
 予約・問合せは ☎052-505-0151(二宮音楽事務所)

聖霊会 聖霊修道院主催
 「New 賛美の集い2022」

み言葉とテゼの歌、静かな美しい音楽を聞きながら、日常の雑音から少し離れてみませんか。

日時 2022年12月17日(土)
 2023年1月21日(土) 2月18日(土) 3月18日(土)
 時間は19:00~20:00。
 賛美の集いと分かち合い。
 場所 聖霊ミッションセンターホール
 〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町1
 地下鉄名城線八事日赤病院1番出口を出て右方向へ、すぐの角を右折、次の角も右折。信号を左折し門へ。徒歩5分。
 参加費 無料、前もっての申し込みは必要ありません。
 問合せ 聖霊修道院 ☎052-832-0434

第7回カトリック文庫講座
 日本近代史のなかのカトリック教会
 ~設立100周年を迎えた
 名古屋教区を中心にして~

本学人文学部教授の三好千春氏をお迎えし、近代日本のカトリック教会の歴史、とりわけ名古屋教区が辿ってきた道を詳らかに語る。

期日 12月4日(日) 13:30~15:00
 会場 南山大学R棟5階(R56教室)
 講師 三好千春教授(カトリック援助修道会)
 コーディネーター 太田達也教授(館長)
 参加費 無料
 申込み カトリック文庫Webページの専用フォームより申し込み。
 URL: https://office.nanzan-u.ac.jp/library/catholicbunko/
 又はFax052-833-6986で申し込みの場合、「カトリック文庫講座参加希望」と書き、氏名、連絡先(電話番号)、身分(一般参加)を明記。
 詳細はチラシをご覧ください。
 主催 南山大学図書館カトリック文庫協議会
 共催 南山大学宗教教育委員会